

の道路の終了点部となりま
す市役所前の殿台―下町
線との接続について、調
整しているところです。

その後、県警の交通規制
課との協議を経て、線形
を確定し、道路認定の手
続きを行う予定です。

測量、設計等につきま
しては、今年度内に実施
し、平成25年に用地買収
翌平成26年に工事の施工
完成という計画で進め
ていきたいと考えてい
ます。

Q (仮称)新町―殿
台線は新しい道路建
設になるが、築造目的は
何か。

A 都市整備課長 県道
成東―酒々井線から
市役所、のぎくプラザ、
さんむ医療センター等へ
のアクセスの支障を解消
するものです。

また、周辺道路の交通
量を分散させ、歩行者等
の安全性を高めるため計
画しております。

Q (仮称)新町―殿
台線の終点部分は市
役所前の殿台―下町線と
いうことだが、その位置

はどこになる
のか。

また、(仮称)
新町―殿台線
の幅員は何メ
ートルになる
のか。

A 都市整備
課長 (仮
称)新町―殿
台線の起点側
は、すぎのや
本陣のわきと
なっておりま
す。終点部分

は殿台―下町線となつて
いますが、位置につきま
しては作田川に寄せるの
か、市役所側に寄せるの
か、周辺の土地利用も考
慮しながら検討している
状況でございます。

また、この路線の線形
と幅員についても、現在
検討している状況です。

Q 殿台―下町線につ
いては、すでに着工
しているが、現在の状況
はどうか。



殿台―下町線の橋梁(7月10日撮影)

都市建設部長 殿台
―下町線につきまし
ては、総延長520メー
トル、幅員12メートルで
工事を進めています。平
成23年度は道路部分の改
良を80メートル、橋梁部
として32メートルの整備
を進めてきました。天候
や電柱の移設などにより
年度内の完成が無理とい
うことで、繰越明許で工
期を平成24年7月20日完
了見込みとしました。平
成24年度につきましては、
残り延長410メートル
の道路改良の予算を計上
しています。

しかしながら、(仮称)
新町―殿台線の整備計画
と平行して作業を進めて
いかなければなりません

ので、殿台―下町線の工
事終了は平成24年度を若
干超えてしまう状況です。

Q 殿台―下町線の作
田川にかかる橋(平
成大橋)は、いつ開通す
るのか。

A 都市建設部長 工期
が7月20日完了見込
みということで、7月中
には何とか歩行者だけで
も通れるようにしたいと
思います。

Q 殿台―下町線が完
成すると、ダイアパ
レス前から市役所前を通
り、作田川を渡って、さ
んむ医療センター前まで
12メートル道路が直通す
ることになる。当然なが
ら、さんむ医療センター
付近での渋滞が予想され
る。殿台―下町線の延伸
は考えているのか。

A 都市建設部長 部内
でもいろいろと検討
はしています。殿台―下
町線が完成して供用開始
になれば、さんむ医療セ
ンター付近で渋滞するだ
ろうという認識は持って
います。

そういう状況をかんが

みますと、当然、延伸は
必要であろうと考えてい
ます。

A 市長 都市建設部内
の検討でも殿台―下
町線を延伸することが必
要であろうということで、
道路を延伸することに関
しての大儀はあると思
います。

しかしながら、施策は
必要性があるからといっ
て施策として決定できる
ものではありません。そ
の他の要因も入ってまい
りますから、殿台―下町
線の延伸については、山
武市の総合的な整備計画
の中で検討していかなく
ればならないと考えてい
ます。

個人質問



川原 春夫 議員

Q ●放射性セシウムの検出
について

シイタケに関する
出荷制限の報道があ

るが、放射性セシウムの
調査は、だが、どのよ
うな行程でされたのか。

また、市の関与と対策、
独自の調査等はされて
いたのか。

A 市長 シイタケ、タ
ケノコ、山菜などの
特殊林産物の放射性物質
検査に当たりましたは、
千葉県農林水産部森林課
がモニタリング調査を行
っております。

Q 県主体の調査とい
うことだが、市内の
生産者に対する市の対策
はどのようになっている
のか。

A 市長 従来、農地の
集積とか、そういったこ
とは市行政でやって
いますが、実際にどうい
った作物をどのように作
るとか、転作をどのよう
にするかということにつ
いては、一般的には県行
政の範疇になっていま
す。したがって、シイ
タケのセシウムの調査、
その他も県が主体的に
行っていますが、市の農
業を守るという立場か

らしますと、もう少し個